

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費  
 4項 林業費  
 2目 林業振興費

県産材・林産振興課 (内線: 7254)  
 (単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
森林作業路網災害復旧対策事業	32,000	46,500	78,500	19,500			27,000	
トータルコスト	32,780	47,280	80,060	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.1人	0.1人	0.2人	補助金交付事務				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

令和5年台風第7号により被災した林業専用道(規格相当)及び森林作業道について、市町村等が緊急に行う復旧作業に要する経費を支援する。

2 主な事業内容

台風第7号により被害を受けた林業専用道(規格相当)、森林作業道の復旧事業 46,500千円  
 被災箇所: 林業専用道(規格相当) …吉岡谷線(鳥取市) 盛土崩壊、切土崩落  
 榎ノ谷線(鳥取市) 切土崩落  
 大山葵口線(鳥取市) 盛土崩壊  
 山根亀ヶ甲線(八頭町)ほか 盛土崩壊、路面洗堀  
 被害箇所: 森林作業道……………山宮松ヶ谷線(気高町) 盛土崩壊  
 小河内栃ヶ谷線(河原町) 盛土崩壊  
 小松谷線(三朝町)ほか 盛土崩壊、路面洗堀

(単位: 千円)

事業内容	補助事業者	実施主体	区分	補正前	補正	計	補助率
林業専用道(規格相当)、森林作業道の復旧に係る経費の支援	市町村	市町村 森林組合 林業事業体 造林公社 森林所有者	事業費	50,000	75,000	125,000	○林業専用道 被害額750万円以上 【国庫】 国 1/2、県 2/9 市町村 1/9 【県単】※ 県 1/2、市町村 1/3
			予算額	32,000	46,500	78,500	○森林作業道 【県単】※ 被害額750万円以上 県 1/2、市町村 1/3

※ 被害額750万円未満の実施主体の場合は県補助率1/3

3 事業目標・取組状況・改善点

各市町村において本事業を活用し、早急に復旧作業を進め、間伐等の森林整備が停滞することのないように取り組んでいく。

## 令和5年度一般会計補正予算説明資料

### 11 款 災害復旧費

#### 2 項 土木施設災害復旧費

自然共生課（内線：7200）

#### 1 目 建設災害復旧費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)自然公園災害復旧事業	0	75,000	75,000	0	<38,250> 75,000	0	0	県費負担 38,250
トータルコスト	0	76,559	76,559	（補正に係る主な業務内容） 委託業務発注、工事発注				
従事する職員数	0人	0.2人	0.2人					

#### 事業内容の説明

##### 1 事業の目的・概要

令和5年8月の台風第7号により被災した自然公園施設の復旧を行う。

##### 2 主な事業内容

（単位：千円）

区分	内容	予算額
中国自然歩道（雨滝） [鳥取市国府町]	○測量設計 10,000千円 ○災害復旧工事 40,000千円 ・仮設工 ・橋梁復旧、擁壁復旧、土砂・岩石撤去 ・休憩舎（東屋）復旧 ほか	50,000
中国自然歩道（鷲峰山） [鳥取市鹿野町]	○測量設計 10,000千円 ○災害復旧工事 15,000千円 ・支障木・倒木処理 ・橋梁復旧、登山道付替え ほか	25,000
合計		75,000

##### 3 事業目標・取組状況・改善点

復旧対象の自然公園施設は、利用者が本県の優れた自然に触れることができる施設であり、また、地域の観光資源にアクセスする重要な役割を担っており、安全で快適な自然公園等の利用を確保するために、被災箇所の早期復旧を図る。



被災前



被災後

中国自然歩道（雨滝）



歩道流失



木橋損壊

中国自然歩道（鷲峰山）

（注）起債欄の上段< >書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の< >書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

## 令和5年度一般会計補正予算説明資料

### 11 款 災害復旧費

#### 2 項 土木施設災害復旧費

皆成学園（電話：0858-22-7188）

#### 1 目 建設災害復旧費 <地方機関計上予算>

(単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 皆成学園敷地内 法面復旧工事	0	8,500	8,500		<4,080> 8,000		500	県費負担 4,580
トータルコスト	0	9,280	9,280	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	設計積算、入札・契約の締結、現場監督				
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的、概要</b></p> <p>令和5年台風第7号による大雨の影響により、令和4年度に実施した土砂崩れによる法面の復旧工事個所と同一箇所の一部が土砂崩れにより不安定となっており、法面に対し入所児童の安全確保及び当該施設の保全整備を目的とした崩落防止工事を実施する。</p> <p><b>2 主な事業内容</b></p> <p>(1) 測量及び設計費 1,500千円 (2) 復旧工事 7,000千円</p> <p>&lt;参考：崩落法面箇所の状況&gt;</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p><b>3 事業目標・取組状況・改善点</b></p> <p>崩落した法面を復旧する。</p>								

(注) 起債欄の<>書きは交付税措置額を除いた額である。

県費負担額は、起債欄の<>書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

# 令和5年度企業会計補正予算説明資料

款 電気事業費、資本的支出  
 項 営業費用、建設改良費  
 目 水力発電費、設備費

工務課（内線7448）  
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源		内訳		備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
【継続費】電気事業会計（発電施設被害復旧費）	1,024,782	〔継続費〕 900,000	〔継続費〕 900,000		〔継続費〕 572,000	〔継続費〕 328,000		
		323,400	1,348,182		228,800	94,600		

主な業務内容 台風第7号による発電施設の被害復旧

補正内容の説明

## 1 事業の目的・概要

令和5年台風第7号の出水により被害が確認された水力発電施設の早期復旧を図る。

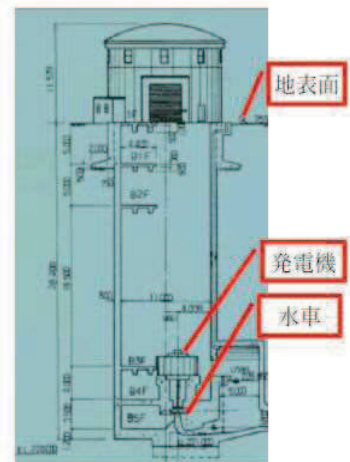
## 2 主な事業内容

(1) 佐治発電所被害復旧（880,000千円）【継続費 R5～R8】

- ・水車発電機細密分解点検、各種機器装置更新 一式
- ・土木施設復旧 一式
- ・発電所浸水対策 一式

(2) 中津ダム流木撤去（20,000千円）【継続費 R5～R6】

処理量 150m<sup>3</sup>程度（想定）



<発電所断面図>

### <佐治発電所の概要>

- ・運転開始 昭和58年4月（現在40年経過）
- ・設置場所 鳥取市佐治町河本（佐治川に近接して設置、地下式）
- ・最大出力 5,000kW

### <佐治発電所の被害状況>

- ・最下階（地下5階）の天井近くまで浸水。
- ・他の階は浸水していないが、地表部からの流入により各種装置は泥水をかぶった状態。



<屋外カメラ映像：8月15日 16時>



<地下5階への階段：8月17日 16時>

### <中津ダムの概要>

- ・運用開始 昭和32年10月
- ・設置場所 東伯郡三朝町中津
- ・ダム種類 利水ダム（発電用）

### <中津ダムの流木状況>

- ・ダム湖面に広範囲で流木がみられる。



<ダム下流部>



<ダム上流部>



令和5年度一般会計補正予算説明資料

11 款 災害復旧費

2 項 土木施設災害復旧費

技術企画課（内線：7368）

1 目 建設災害復旧費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
建設災害復旧費 [災害公共事業]	3,955,837	17,100,000	21,055,837	11,405,700	<284,700> 5,694,000		300	県費負担 346,700
(新) 公共土木施設災害激甚化対応復旧特別枠 [災害公共事業]	0	3,700,000	3,700,000	2,467,900	<61,600> 1,232,000		100	
トータルコスト	3,957,397	20,810,136	24,767,533	(補正に係る主な業務内容) 国庫補助金業務（申請、報告、収入事務等）、災害査定、現地確認、設計、工事及び委託契約・監督、支払事務、関係機関との調整				
従事する職員数	6.8人	1.3人	8.1人					
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b> 令和5年台風第7号により被災した道路・河川等の公共土木施設を速やかに復旧し、施設の機能回復を図る。</p> <p><b>2 主な事業内容</b> (1) 建設災害復旧費 ＜被害状況＞河川311件、砂防73件、道路106件、港湾4件 計494件（9月8日時点） ・主な被災箇所：国道482号（鳥取市用瀬町別府～佐治町栃原）道路崩落・土砂流出 県道麻生国府線（八頭町福地）道路崩落 県道河内楨原線（鳥取市河内）道路崩落 佐治川ダム（鳥取市佐治町尾際）流木・土砂堆積 天神川（三朝町久原）護岸崩落</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>国道482号（鳥取市用瀬町別府） 道路崩落・土砂流出</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>県道麻生国府線（八頭町福地） 道路崩落</p>  </div> </div> <p>＜参考＞ 8月補正：台風第7号による公共土木施設の応急工事 1,500,000千円</p> <p>(2) 公共土木施設災害激甚化対応復旧特別枠 異常気象等により激甚化している近年の災害に伴う被害状況を踏まえ、台風第7号や今後発生する災害により被害を受ける公共土木施設の早期復旧等を図るための枠予算を設定する。</p> <p><b>3 事業目標・取組状況・改善点</b> 災害復旧事業は、河川堤防が決壊した場合や、道路の崩壊により孤立集落が発生した場合等、緊急時には災害査定を待たずに工事着手し、早期復旧及び機能回復を図っている。</p>								

(注) 起債欄の<>書きは交付税措置額を除いた額である。

県費負担額は、起債欄の<>書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

## 令和5年度一般会計補正予算説明資料

### 1 1 款 災害復旧費

#### 1 項 農林水産施設災害復旧費

農地・水保全課（内線：7323）

#### 1 目 耕地災害復旧費

県産材・林産振興課（内線：7297）

#### 2 目 林道施設災害復旧費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
（公共事業） （新）災害激甚化対応復旧特別枠	0	1,300,000	1,300,000	1,256,000	<600> 12,000		32,000	県費負担 32,600												
トータルコスト	0	1,301,559	1,301,559	（補正に係る主な業務内容） 申請書の審査・補助金の支払い、国との調整等																
従事する職員数	0.0人	0.2人	0.2人																	
事業内容の説明																				
<p><b>1 事業の目的、概要</b></p> <p>異常気象等により激甚化している近年の災害に伴う被害状況を踏まえ、台風第7号や今後発生する災害により被害を受ける農林関連施設の早期復旧等を図るための枠予算を設定する。</p>																				
<p><b>2 主な事業内容</b></p> <p>甚大な災害により被災した農地・農業用施設、林道施設の原形復旧等を行う。</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">区 分</th> <th style="width: 40%;">基本補助率</th> <th style="width: 20%;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>耕地施設災害激甚化対応復旧特別枠 （実施所属：農地・水保全課）</td> <td>農地：50%（嵩上げ80%） 施設：65%（嵩上げ90%）</td> <td style="text-align: right;">800,000</td> </tr> <tr> <td>林道施設災害激甚化対応復旧特別枠 （実施所属：県産材・林産振興課）</td> <td>奥地幹線林道：65%以上（嵩上げ80%） その他の林道：50%以上（嵩上げ65%）</td> <td style="text-align: right;">500,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: right;">1,300,000</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	基本補助率	予算額	耕地施設災害激甚化対応復旧特別枠 （実施所属：農地・水保全課）	農地：50%（嵩上げ80%） 施設：65%（嵩上げ90%）	800,000	林道施設災害激甚化対応復旧特別枠 （実施所属：県産材・林産振興課）	奥地幹線林道：65%以上（嵩上げ80%） その他の林道：50%以上（嵩上げ65%）	500,000	合 計		1,300,000
区 分	基本補助率	予算額																		
耕地施設災害激甚化対応復旧特別枠 （実施所属：農地・水保全課）	農地：50%（嵩上げ80%） 施設：65%（嵩上げ90%）	800,000																		
林道施設災害激甚化対応復旧特別枠 （実施所属：県産材・林産振興課）	奥地幹線林道：65%以上（嵩上げ80%） その他の林道：50%以上（嵩上げ65%）	500,000																		
合 計		1,300,000																		
<p><b>3 事業目標・取組状況・改善点</b></p> <p>（1）事業目標 被災した農地・農業用施設、林道施設の早期復旧を図る。</p> <p>（2）取組状況・改善点 被災後は速やかに原形復旧し、機能回復を図っている。</p>																				

（注）起債欄の上段<>書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和5年度 一般会計補正予算説明資料

2款 総務費

6項 防災費

危機管理政策課（内線：7584）

1目 防災総務費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)災害激甚化防災機能向上専門家調査事業	0	30,000	30,000				30,000	
トータルコスト	0	33,899	33,899	(補正に係る主な業務内容) 調査研究に係る調整、委託等				
従事する職員数	0.0人	0.5人	0.5人					
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的・概要</b> 令和5年台風第7号など、地球温暖化による気候変動に伴い激甚化している近年の災害を踏まえ、災害に強い地域づくりに向けた対応方策について調査・研究を行う「災害激甚化を踏まえた防災機能向上調査会」を設置し、県・市町村等関係機関の防災対策に活かしていく。</p> <p><b>2 災害激甚化防災機能向上専門家調査事業</b> 県・市町村職員主体で調査を開始している「防災対策研究会」と連携しながら、外部の専門家に今後の防災機能向上に向けた調査研究・提言を行っていただく。</p> <p>(調査内容) ・激甚化した災害被害（佐治川、国道482号沿いで広範囲かつ複数箇所が生じた一連の被害等）を踏まえ、今後の防災機能向上に向けた調査研究を行う。</p> <p>(調査期間等) ・今年度内に調査を行い、早期に得られた知見は当初予算に反映するなど、今後の防災機能向上に資するものとする。</p> <p>(予算額) 30,000千円</p>								

令和5年度一般会計補正予算説明資料

4款 衛生費

4項 医薬費

医療政策課（内線：7172）

2目 医務費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 緊急浸水対策 支援事業（医療機 関）	0	2,860	2,860				2,860	
トータルコスト	0	3,640	3,640	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.1人	0.1人	補助金交付業務				
事業内容の説明								
<p><b>1 事業の目的、概要</b></p> <p>7月の大雨による内水氾濫や、8月の台風7号による河川氾濫等による被害を踏まえ、今後の浸水害に備えるため、医療機関が緊急に行う浸水対策を支援し、広く県内医療機関の防災機能の充実強化を図る。</p> <p><b>2 主な事業内容</b></p> <p>緊急浸水対策として、病院又は有床診療所が実施する対策（止水板の整備等）に要する経費の一部を支援する。</p> <p>(1) 補助対象施設 病院又は有床診療所</p> <p>(2) 補助対象経費 浸水対策に要する経費（止水板の整備等）</p> <p>(3) 補助率 1/3（医療機関2/3、県1/3）</p> <p>(4) 補助上限額 143千円</p> <p><b>3 事業目標・取組状況・改善点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先般の大雨災害による被害を踏まえ、医療機関が緊急に行う浸水対策を支援し、広く県内医療機関の防災機能の充実強化を図る。</li> <li>・7月下旬、県内の医療機関を対象に、各施設の浸水対策について緊急点検の実施を要請した。</li> <li>・点検の結果、河川の浸水想定区域内に立地する28病院中、25病院で浸水対策を実施済みであり、残り3病院は今後（年度内）実施予定であることが判明した。</li> <li>・対策が急がれる当該3病院に加え、浸水想定区域外の医療機関でも、対策を急ぎたいとの要望がある。</li> </ul>								



# 令和5年度一般会計補正予算説明資料

8 款 土木費

2 項 道路橋りょう費

2 目 道路橋りょう維持費

道路企画課 (内線: 7357)

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 道路冠水危険箇所におけるWEBカメラ等設置事業 [単県公共事業]	0	7,500	7,500				7,500	
トータルコスト	0	9,839	9,839	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.3人	0.3人	設計積算、入札・契約の締結、現場監督				

事業内容の説明

## 1 事業の目的、概要

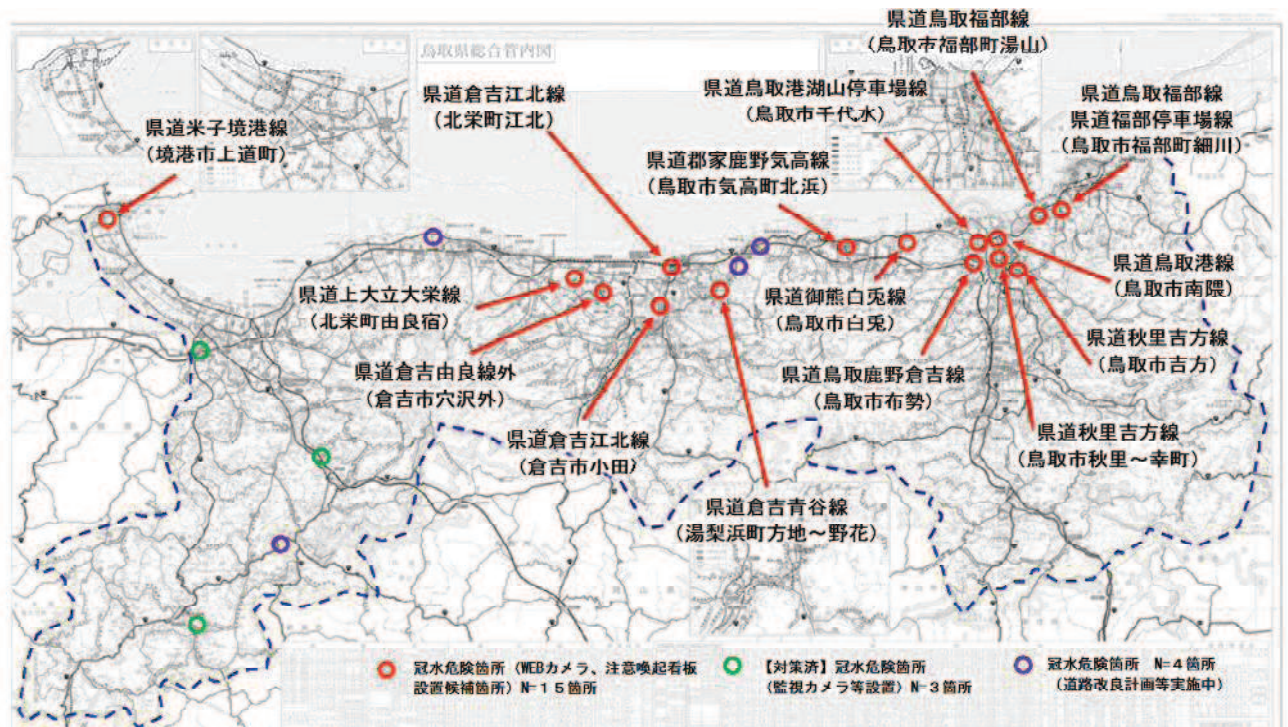
7月13日の大雨の影響で、県道鳥取福部線(鳥取市福部町細川)をはじめ、県東部を中心に冠水等が発生し、県管理道路8路線で全面通行止めとなった。

通行止めの際には、現地パトロール班の派遣等により状況把握を行い、迂回路設定及び通行止め解除の判断を行ったが、冠水等の現地状況の把握に時間を要したという課題があった。

このため、道路冠水が発生しやすい箇所について、リアルタイムで現地状況の把握が可能なWEBカメラの増設及び道路利用者への注意喚起看板の設置を行い、迅速な通行止め・迂回路設定により、道路利用者の安全を確保するとともに、周辺地域や道路利用者へ情報発信を行う。

## 2 主な事業内容

WEBカメラ及び注意喚起看板の設置 15箇所



## 3 事業目標・取組状況・改善点

- 過去の冠水被害をもとに、冠水危険箇所一覧表(全22箇所)を作成し、県ホームページに公表した。
- 冠水危険箇所のうち、3箇所は監視カメラ設置等により冠水監視対策を実施済である。
- さらに、4箇所は道路改良計画(嵩上げ等)があり、鋭意対策を進めている。

令和5年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費  
4項 林業費  
7目 治山費

治山砂防課(内線:7821)  
(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
治山事業新規事業化調整費 [単県公共事業]	23,000	10,000	33,000				10,000	
トータルコスト	30,018	10,780	40,798	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.9人	0.1人	1.0人	計画説明、設計・積算業務、監督業務				

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

令和5年5月の大雨により治山施設の一部が崩壊し、また、7月13日の大雨により隣接する自然斜面の崩壊が発生した。当該2箇所の復旧のため、早急に対策を検討する必要があることから、対策工の概略設計を実施するための経費である。

2 主な事業内容

・岩戸地区(鳥取市福部町岩戸)



3 事業目標・取組状況・改善点

山地災害等により荒廃の進んだ森林の早期復旧及び森林の維持造成を図るため、国庫補助事業で治山施設を整備する上で必要となる対策工法の検討を実施する。



令和5年度一般会計補正予算説明資料

7款 商工費  
3項 観光費  
1目 観光費

観光戦略課（内線：7421）  
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) コロナ禍・台風災害を乗り越える観光振興戦略事業	0	150,000	150,000	48,000			102,000	
トータルコスト	0	153,119	153,119	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.4人	0.4人	委託事務、情報発信企画調整、関係機関との連携・連絡・調整				

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

コロナ禍や令和5年8月の台風第7号による被害を乗り越えて、インバウンドを含む県内の観光振興を図るため、国内外からの誘客促進や情報発信の強化、受入環境整備、国事業を活用した高付加価値旅行者層の誘客対策を実施する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	内容	予算額
1 旅行商品造成・誘客促進	○会員向け雑誌や新聞広告を活用して集客する旅行会社を中心に、旅行会社と連携した旅行商品造成を行う。 ○大手旅行会社と連携し、本県への誘客に繋がる対策を講じるとともに、旅行会社店頭には鳥取県PRコーナーを設置し、旅行先として本県のPRを行う。	35,000
2 情報発信強化	○インフルエンサーの招聘やSNS等による「鳥取県の観光魅力」や「食パラダイス鳥取県」の情報発信を強化する。	15,000
3 受入環境整備	○県内両空港の航空利用者に対するレンタカー割引、主要観光地を巡る観光周遊タクシーの運行支援、県内宿泊施設の魅力向上に資する環境整備支援などを行う。	20,000
4 インバウンド対応強化	○国際定期便・チャーター便の運航再開・新規就航に向けて、プロモーション強化と航空会社・旅行会社への支援を行う。 ○高付加価値旅行者層の誘客を促進するため、本県の自然や歴史等を生かした体験コンテンツのメニュー化・磨き上げ、情報発信等を実施する。 (観光庁 観光再始動事業(国10/10)を活用)	80,000
合計		150,000

3 事業目標・取組状況・改善点

旅行会社と連携した国内外からの誘客促進や情報発信、空港レンタカー・観光周遊タクシーによる周遊性向上、宿泊施設の魅力アップ、国事業活用による高付加価値旅行者層の誘客促進を強力に推進する。

## 令和5年度一般会計補正予算説明資料

3款 民生費  
 2項 児童福祉費  
 1目 児童福祉総務費

子育て王国課（内線：7573）  
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) シン・子育て王国男性育児休業取得応援事業	0	10,000	10,000				10,000	
トータルコスト	0	13,119	13,119	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.0人	0.4人	0.4人	制度新設、委託業務の調整・契約、問い合わせへの対応等、補助金の審査・交付事務				

### 事業内容の説明

#### 1 事業の目的、概要

国の「こども未来戦略方針」（令和5年6月閣議決定）において、男性の育児休業取得率を引き上げていくこととされ、県では第2次鳥取県女性活躍推進計画を改訂（令和5年7月）し、令和7年の県内企業の目標取得率を85%に設定した。この目標を「シン・子育て王国とっとり運動」の取組にも掲げて推進していくため、新たに事業者への助言・伴走支援の実施や奨励金制度を創設し、男性の育休取得率の向上を加速させる。

#### 2 主な事業内容

男性の育休取得を促進するため、中小企業に外部専門家を派遣し、男性育休導入やくるみん認定取得の支援を行い、男性育休の普及啓発を図る。  
 併せて、男性従業員が育児休業を取得する際の代替人員の確保、同僚への応援手当を支給した事業主に対して奨励金を支給する。

細事業名	内容	予算額（千円）
1 男性育休導入のための専門家による助言	県内中小企業における男性育休取得のための環境整備に向けて、専門家の助言による意識醸成・課題整理を促進する。（30社程度）	1,500
2 男性育休導入のための専門家による伴走支援	男性育休導入に向けた課題の改善・対応を行う県内中小企業に対し、実態に応じた多面的なアプローチによる伴走支援を行う。また、支援の成果を県内企業向けに発信し、男性育休導入の機運上昇を図り、今後導入促進に取り組む企業への働きかけを行う。（5社程度）	3,500
3 くるみん認定に向けた社会保険労務士派遣	次世代育成支援対策推進法上の一般事業主行動計画の策定・計画の実施や、子育てサポート企業の全国指標である「くるみん」認定申請手続等のため社会保険労務士を派遣して支援することで、高い水準で男性育休取得促進を含めた働きやすい職場づくりに取り組む県内中小企業の増加につなげる。（10社程度）	2,000
4 男性育休を取得する体制を整備した事業者への奨励金	「とっとり子育てプレミアムパートナー」に登録し、次の取組を行った事業者に奨励金を支給する。 (1) 男性従業員が1ヶ月以上の育児休業を取得する場合に、育児休業期間中の代替人員を確保 支給額 120千円/月（上限額1,440千円/社） (2) 男性従業員が15日以上、3ヶ月未満の育児休業を取得する場合、育児休業中、同僚に対し業務応援手当を支給 支給額 40千円/15日（上限額240千円/社）	3,000
合計		10,000

#### 3 事業目標・取組状況・改善点

中小企業の意識醸成・課題整理、男性育休導入に向けた体制構築、国の認定制度の取得について専門家による支援及び新たな奨励金の創設を行い、男性育休取得率の向上を加速させ、男女ともに子育てしやすい雇用環境の実現を図る。